

第6学年「図画工作科」シラバス

6年生ではこんな学習をします



学習の目標

造形的な能力を働かせるとともに、自ら創り出す喜びを味わい、様々な表し方や見方に触れ、創造的に表現する態度を育てます。

材料の特徴をとらえ、想像力を働かせて、主題のあらわし方を構想するとともに、美しさなどを考え、創造表現の能力・デザインや創造的な工作の能力を高めます。

作品を進んで鑑賞し、そのよさや美しさなどを感じ取り、感性を高めるとともに、大切にしようとする心を養います。

学習の方法

美術作品や、友達の作品に触れながら、造形意欲を高めるようにします。児童が興味ある材料・用具を使って表現できるようにします。

彫刻等などの用具の正しい使い方を理解し、安全に学習できるようにします。

鑑賞や話し合いの時間をもち、友達の作品の良さを認め合います。

学習の評価

図工科では次の観点で評価します。
「進んで表現や鑑賞を楽しみ、つくり出す喜びを味わおうとする。」

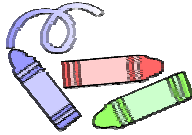
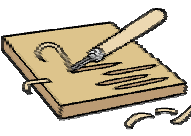
授業への参加態度、発表など
「感じたことや考えたことをもとに自分らしい発想をし、豊かな表現を構想する。」

アイデアスケッチなどの提出物
「表したい思いや意図から創造的な技能を働かせ表し方を工夫する。」

作品、行動観察など
「造形作品に関心や親しみをもち、そのよさや美しさなどを味わう。」

鑑賞態度、発表、ワークシートなど

年間の学習計画

	学習する単元	学習の内容
前 期 22 時 間	1 願いや思いを形や色に	6年生になった思いを、絵と、詩や川柳で表します。
	2 きょうかしよびじゅつかん (表し方のひろがり)	現代の美術作品について、テーマや表し方等に親しみ、作品を鑑賞して自分なりの感想をもてるようにします。
	3 三原色をつかって (あらわしかたをくふうして)	色の三原色で、様々な色を作り、色の美しさを見つけます。
	4 絵巻物をつくらう	修学旅行の思い出を、絵や文章で綴ります。
	5 焼き物をつくらう	粘土を加工して、つくりたい形をイメージしながら器をつくります。
	6 はりがねのクランクで	クランクの仕組みを利用して、用具や材料の使い方を工夫しながらスムーズに動く作品をつくります。
後 期 28 時 間	7 わたしの学校 	気に入った場所を見付け、画面構成や色の組み合わせなどを工夫しながら絵に表し、学校への愛着を深めます。
	8 ランプシェード	カラフルな和紙に、毛糸や葉っぱをはり合わせて、ランプシェードをつくります。
	9 きょうかしよびじゅつかん (願いや思いを形や色に)	環境や平和をテーマにしてつくられた作品を鑑賞して、作品に込められた願いや思いを感じ取ります。
	10 心広がる場面	好きな物語で、心を動かされた場面を構想することを楽しみ、表したい場面が伝わるような構図や配色を工夫します。
	11 木彫りのものをつくらう 	木の特性を生かして、造形物の表面に効果的に木彫りをほどこした作品をつくります。できた作品を鑑賞し合いながら、工夫点を話し合います。